

山梨に魅かれて

4 この地の自然にふれ、 風を感じて、 「葉っぱのフレディ」は 生まれた。

絵本翻訳家 みらいななさん



みらいさんの代表作「葉っぱのフレディ」を手に。

初めて訪れた塩山で、 美しい夕焼けに魅せられて

みらいさんの自宅は、眼下に甲州市

本当の静寂や闇の暗さなども、初めて
分かりました」

「葉っぱのフレディ」の翻訳も、そん
な多くのものをもたらしてくれたこ
の地で完成したといえます。

「フレディは山梨に来る前にすでに翻
訳していたんですが、何か足りないな、
何か違うなと感じて出版はしていなか
ったんです。でもこの地で自然に触れな
がら暮らすうちに、それは『風』ではな
いかと思っただけです。原作に風は出てこ
ないんですが、風を思っってもう一度訳し
直したら本当にいいものになり、出版に
至りました。フレディは山梨に来なかつ
たら完成できなかった絵本です」

さらに大きく羽ばたいていく 「フレディ」の世界

「葉っぱのフレディ」は、2001年に
須玉で開催された全国植樹祭で、フィ
ールドミュージカルとしても上演。みら
いさんは天皇皇后両陛下の前で朗読
も行いました。

「本当に感動して、全身が震えまし
た。両陛下からお言葉もかけていただ
きました。」

今夏には、北海道で行われる「20
08年洞爺湖サミット」連動プロジェ
クトとして、「青い地球をまもる緑の
葉っぱたち」葉っぱのフレディ」のミュー
ジカル」が北海道恵庭市で上演され、
みらいさんも参加を予定しています。



上：偶然出会った美しい夕焼けに魅せられて、
この地に移り住んだというみらいさん
中：自宅の庭には「葉っぱのフレディ」を思わせる
大きな木がある。



甲州市街を一望できる自宅の庭で。
敷地内には水も湧き出ていて、池にはたくさんの鯉が泳ぐ。
休日はいつもこの庭でのんびりと過ごしている。

街が広がり、目の前に南アルプスの大パ
ノラマを望む山の中腹にあります。移
り住んだのは15年余り前。その出会
いは、偶然の出来事からでした。

また「葉っぱのフレディ」出版10周
年を迎える来年には、「巡り合い10周
年」を記念して、ニューヨークでもミ
ュジカルが行われるそうで、「葉っぱの
フレディ」の世界はさらに大きく広が
つていきます。

ママから世界へ、 ここからインターナショナルに

「フレディに命を吹き込んでくれた
この山梨は、大きな可能性を秘めてい
ると思うんです。私はここに暮らし、
仕事で東京にも海外にもよく行きま
すが、行った先を遠いとか近いと思っ
たことがないんです。まさに『ここから

「山岳部出身の主人が、知り合いか
ら大菩薩峠に登りたいから連れて行っ
てと頼まれ、私も一緒に塩山を訪れた
のがきっかけです。登山を終えた帰り
道、目の前に今までに見たことのない
夕焼けが現れたんです。竜のような雲
が天に向かってまっすぐに伸び、それが
見ている間にどんどん広がって鳳凰に。
その夕焼け見たさに後日また主人と
塩山に。その時、地元の方と世間話を
していた主人がこの辺りでいい家はな
いかって、もう聞いていたんです」

私たちはこの地に導かれて きたんでしょね

世界へ、ここからインターナショナルに』
つながっています。心に思うことは、何
でもできる『場所』なんです。空を見
て思うんです。この空は1日前はオラ
ンダの子どもたちが見上げていた空か
もしれないって。それだけ世界が近く
感じるんです。少し遠くを見て、足元
を考えるのがいいかもしれませんね。
そして自分というものを認識するこ
とからすべてが始まるのではないでし
ょうか。私も山梨に住んで、自分をしっ
かりと見つめることができ、そこから
新しいことが始まりましたから」
今年 は作家として日本で絵本の出
版も予定しているというみらいさん。

もともと山や自然が大好きという
わけではなく、それまで暮らしていた
東京からの移住も考えていなかった中
での急な展開に、「ご自身も驚いたとい
います。」

「私たちはこの地に導かれてきたん
でしょうね。私も主人も日本各地を
訪れてきましたが、住みたいと思っ
たのはこの地だけです。はじめはと
きどき使うアトリエのつもりでしたが、
住み始めたなら、特別なパワーをもらい、
運氣まで上がりましたからね。それに
何よりもここでは四季を感じることに
でき、日本人に生まれたことのありが
たさを実感することができたのです。

どんな新しい世界が広がっていくのか、
楽しみです。

みらいさんからお母さんへ… そして子どもたちへ

みらいさんは、子どもたちだけでな
く、お母さんたちのためにも「本の読
み聞かせ」を行なっています。「私が読
むように、お母さんもお子さんにそっ
やって絵本を読んでもらいたいから。
絵本には、誰もが知っているやさしい言
葉で真実が表現されているんですよ」
お母さんが子供たちのために絵本
を読んであげることが、いつの時代で
もとても大切なことですね。